

WOWOW

各位

2020年11月18日

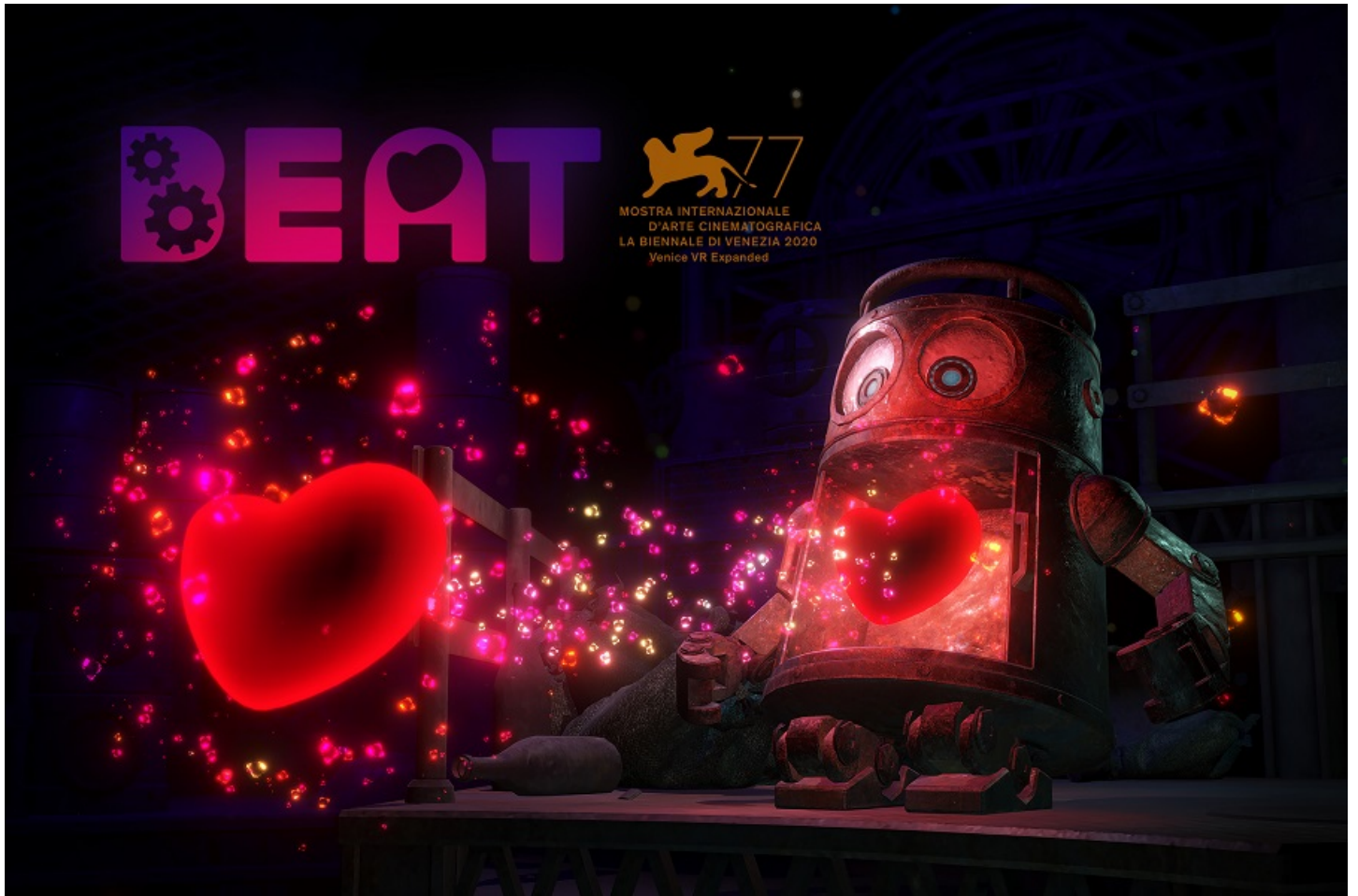
株式会社 WOWOW

代表取締役 社長執行役員 田中 晃

(コード番号：4839 東証第一部)

プレスリリース

Haptics（触覚）技術を使用したVRアニメーション「Beat」が先進映像協会主催のルミエール・ジャパン・アワード 2020 VR部門 優秀作品賞を受賞



株式会社WOWOW（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 田中 晃、以下「WOWOW」）と株式会社 CinemaLeap（本社：東京都港区、代表：大橋 哲也）が共同製作したVRアニメーション「Beat」が、11月18日（水）に開催された先進映像協会主催のルミエール・ジャパン・アワード2020授賞式にてVR部門 優秀作品賞を受賞しました。

先進映像協会日本部会（AIS-J）主催のルミエール・ジャパン・アワードは、日本における良質なコンテンツの拡大と品質向上を図ることを目的として、日本国内で制作・公開された先進的な映像作品の中から、優れた作品をたたえる賞として2011年より開催されています。本作は、Hapticsデバイスを用いたバイオフィードバック

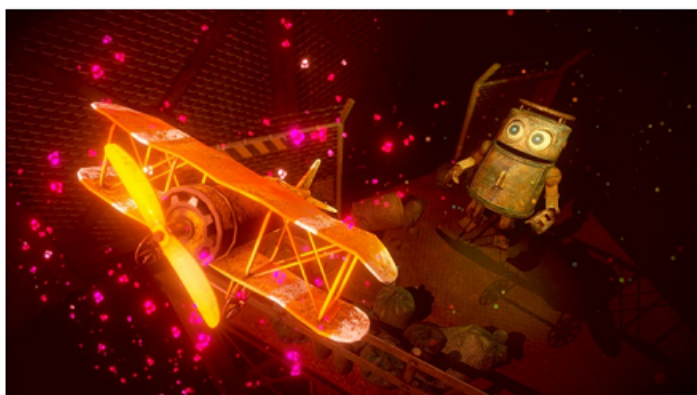
クによって、キャラクターとの親密さや、ストーリーや空間との一体感が向上するという、新規性の高い効果的な表現が高く評価されました。

「Beat」は、Haptics※（触覚）技術を用いたデバイスを利用し、ユーザーの心臓の鼓動を、作品に登場するロボットのハートと連動させることにより、ロボットに命が吹き込まれ、物語が展開する形を取っています。ユーザーが聴診器を胸に当てることにより、ケーブルを通じて手持ちのデバイスが鼓動に合わせて振動します。新しい技術を作品に組み合わせることにより、今までにない新しい映像体験を提供し、第77回ヴェネチア国際映画祭バーチャルリアリティ（VR）部門のコンペティション作品としてノミネートされました。本作品は、WOWOW Lab※の活動の一環として外部クリエイターと共同開発をした作品です。

※Hapticsとは、ユーザーに対して力・振動・動きなどの"触覚"を通じて情報を伝達するユーザーインターフェース技術の総称です。

※WOWOW Labとは、WOWOW単独では難しいさまざまな取り組みを外部連携を積極的に行なうことで継続的に実現させるための仕組みです。クリエイター、エンジニア、技術系スタートアップ企業などと組み、コンテンツに関わる新しい技術の実験や試験を行ない、お客様に向けた新しいコンテンツ・サービスを生みだすことを狙いとしています。

■VRアニメーション「Beat」 概要



- ・ 作品名：Beat
- ・ 製作年：2020年
- ・ 製作：株式会社WOWOW／株式会社CinemaLeap
- ・ 監督：伊東ケイスケ
- ・ プロデューサー：藤岡寛子（WOWOW）、待場勝利
- ・ 鼓動体感技術提供：安藤英由樹（大阪芸術大学）
- ・ 作品尺：12分
- ・ ジャンル：アニメーション
- ・ あらすじ：Beatは、ユーザーの心臓の鼓動によってロボットに命が吹き込まれ、心を通わせて成長していく物語です。ユーザーのハートによって命を吹き込まれたマルボ口は、もうひとりのロボット・カクボ口と友達になりたいのに、不器用で関わり方が分からず怒らせてしまいます。しかしどうしても友達になりたかったマルボ口は、相手を思いやる気持ちを持つことで、一度閉ざされてしまったカクボ口の心を開いていきます。

・ 予告編動画 <https://youtu.be/Z8PRVSNQbJg>

WOWOWは、コーポレートメッセージ「見るほどに、新しい出会い。」のコンセプトのもと、今後も新しい技術を積極的に取り込み、より深い映像体験を生み出して参ります。

報道関連・IR関連のお問い合わせ

人事総務局広報・IR部 TEL:03-4330-8080

E-mail:corp.support@wowow.co.jp